

## 問 2

出題趣旨	
<p>ログのモニタリングは、システムにアクセスする権限をもった利用者による不正を検出する仕組みとして有効である。しかし、適切なモニタリング条件が設定されないと、不審な行動を見逃してしまったり、逆に、通常業務としての利用が大量に検出されてしまったりするなど、期待どおりには機能しない。</p> <p>本問では、システムの利用状況を基に、適切なモニタリング条件を設定する能力及び、モニタリングを有効に維持し続けるプロセスを確立する能力を問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	(1)	個人情報へのアクセス頻度の上限のような具体的な値	
	(2)	a 8000 番台の機能の利用失敗回数が 1 回以上	
	(3)	ログイン失敗	
設問 2	(1)	悪意ある行動を抑止する効果	
	(2)	モニタリング条件を回避するようにして悪意ある行動をとられること	
	(3)	新サービス担当の 4 名以外の従業員が 1 週間で 50 回を超えて 200 回以下の頻度で個人情報へのアクセスを行った場合	
	(4)	b 1 週間で、8000 番台の機能の利用成功が 50 回を超え	
設問 3	定期的に営業部の部長にヒアリングを行って業務内容に変化がないか確認し、モニタリング条件を見直す。		